

# ニューフェイスコーナー

## コロナ禍のUターン

宇部市医師会 (医) 清水泌尿器科

清水 勇樹

2021年1月に宇部市の「清水泌尿器科」を父から継承した清水勇樹です。

2020年3月末に神奈川県東海大学を退職し帰郷しましたが、コロナ初年で帰郷直後に緊急事態宣言。新型コロナウイルスがまだ未知のウイルスであり、近隣の先生方へのご挨拶もままならず、悶々と過ごす日々でのスタートでした。子供たちも転校直後に小学校が休校となり、引っ越し直後から「日常生活」とはほど遠い生活でした。

東海大学は神奈川県西部の田舎という立地もあり、排尿障害や尿路結石、尿路感染症など良性疾患の軽症例から、集中治療室での全身管理や外科的治療が必要な重症例まで、また癌治療では手術や抗癌剤治療、終末期ケアなど幅広く診療に携わってまいりました。手術においては開腹、開放手術や経尿道的手術、腹腔鏡手術、ロボット支援手術などさまざまな術式を執刀し、なんでも診てきたとやや慢心しておりましたが、考えが甘かったと大反省…。こちらに帰ってきた当初は総合病院や大学病院とクリニックとのギャップに苦戦しました。症例の違いや限られた検査・診断機器での診療に戸惑いや不安、焦りばかりでしたが、父やスタッフの方々のサポートにより少しずつ日々の診療に慣れ、また初心に戻り教科書、ガイドラインと向き合うことが多くなりました。

受診される患者様の主訴の多くが排尿障害、中でも夜間頻尿を訴えられる方がほとんどです。夜間頻尿の

原因には①膀胱や前立腺など尿路の問題、②睡眠障害、③内科的な基礎疾患や生活習慣、があります。当初は内服治療を中心に考えておりましたが、当然のことながらそれだけではなかなか治療効果がみられません。現在は生活習慣改善による症状軽減も治療目標の一つとするため、睡眠障害の講演を拝聴したり、ガイドラインを読んだりしながら、診療に時間はかかっていますが、丁寧な説明と生活指導を心がけております。

継承してから多目的トイレ設置のためのリフォームや看板の新設、電子カルテの導入、検査機器の新調などを行ってまいりましたが、4年目になりやっと一通り整えられたとほっとしております。地域医療の一角として、患者様の生活の質の向上、近隣の諸先生方のお力になれるよう邁進してまいりますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

